

要　望　書

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議
福　岡　県
福　岡　県　議　会

平成27年5月

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について、平成29年度の世界遺産登録の実現に向け、平成27年度にユネスコへ推薦すること。

- 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録に関して、御助言、御指導いただき、感謝申し上げます。
- 本遺産群には、4世紀後半から9世紀末に至る約500年間に及ぶ祭祀遺跡があり、その多くが奇跡的に良好な状態で残っております。特に、中核となる沖ノ島で発見された8万点に及ぶ神への奉納品は、全て国宝に指定され、「海の正倉院」とも呼ばれています。これにより、古代祭祀の変遷が明らかになり、そして、その信仰は現在まで継承されています。
また、祭祀を行い信仰を育んだ宗像地域の人々の存在は、海を望む台地上に築かれた新原・奴山古墳群により証明されています。
このような資産は、他に例がなく、特異かつ世界唯一のものとして高い価値を有する資産です。
- 平成21年に暫定リストに掲載されて以来、行政、経済団体、市民など各界の代表で構成する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議において、推薦書素案の作成、資産を保護・保全していく体制づくり、資産の価値について、多くの人々に伝える活動など様々な取組みを進めてまいりました。
- 推薦書素案については、文化庁の支援や国内外の専門家による助言をいただきながら、鋭意検討を重ね、世界遺産への推薦にふさわしい内容となつたことから、この3月に文化庁へ提出いたしました。
また、広報・啓発活動により、地元住民活動はもとより、企業の応援も増え、登録に向けた機運がさらに盛り上がってきています。
- 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産への登録は、まさに人類の宝である貴重なこの資産を後世の人々に残すとともに、歴史的、文化的価値を世界に発信し、地域の活性化にも大きく寄与するものです。
平成29年度世界遺産登録の実現に向けて、是非、平成27年度にユネスコへ推薦していただくよう要望します。

平成27年5月

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」

世界遺産推進会議会長

小川 洋

福岡県知事

小川 洋

福岡県議会議長

井上 忠敏

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

【本遺産群の価値】

- 本遺産群は、島を信仰の対象とする文化的伝統が古代祭祀の変遷と展開の中で形成され、現代まで継承されてきた過程を物語る稀有な資産である。
- 沖ノ島は、東アジアにおいて、海を越えた交流が頻繁に行われた4～9世紀の約500年間に及ぶ、おびただしい量の貴重な奉獻品を用いて航海の安全を祈った古代祭祀の変遷の考古学的物証である。
- 7世紀後半には同様の祭祀が大島や本土でも行われるようになり、海によって結ばれる沖津宮、中津宮、辺津宮という広大な空間で宗像三女神をまつる宗像大社が成立し、現在まで続いている、大島に設けられた沖津宮遙拝所は、沖ノ島を遥拝する伝統を示すものである。
- また、沖ノ島へと続く海を強く意識した場所において、5～6世紀にかけて大小様々な古墳群から成る新原・奴山古墳群が築かれた。この古墳群は、海を越えた交流に従事し、沖ノ島の祭祀を担い、沖ノ島に対する信仰を支えた宗像地域の人々の存在を証明する遺跡である。

【構成資産】

名 称	所 在 地	資 産 概 要	画 像
①沖ノ島 (宗像大社沖津宮)	宗像市	宗像市神湊から約60kmの玄界灘に浮かぶ東西約1km、南北約0.5km、周囲約4kmの絶海の孤島。 4世紀後半から約500年にわたり、ヤマト王権による国家的な祭祀が執り行われたことを示す遺跡があり、「海の正倉院」と称されるにふさわしく、国宝に指定されている約8万点の遺物が出土している。沖津宮は、沖ノ島の祭祀遺跡に鎮座し、祭神は田心姫神(たごりひめのかみ)である。	 沖ノ島全景
②沖津宮遙拝所 <small>おきつみやようはいしょ</small>	宗像市	宗像市大島の北側の海辺に沖ノ島の方向を向いて建つており、空気の澄みきった日には沖ノ島を肉眼で見ることができる。沖ノ島には通常渡島することができないため、遙拝所は神の宿る島として沖ノ島を大島から遙拝するための役割を果たしている。	 沖津宮遙拝所
③宗像大社中津宮	宗像市	中津宮は、宗像・大島に鎮座し、祭神は湍津姫神(たぎつひめのかみ)である。社殿後背の御嶽山頂の祭祀遺跡(7～9世紀の露天祭祀遺跡)と参道で結ばれ、一体のものとして中津宮境内を形成する。中津宮本殿は県指定文化財の建造物である。	 中津宮
④宗像大社辺津宮	宗像市	辺津宮は、宗像本土の田島に鎮座し、祭神は市杵島姫神(いちきしまひめのかみ)である。本殿は、宗像大宮司氏貞の再建、拝殿は小早川隆景による再建であり、国指定重要文化財の建造物である。	 辺津宮
⑤新原・奴山古墳群 <small>しんばる むやまこふんぐん</small>	福津市	旧入海に面し、本土から沖ノ島へと続いている海を望む東西約800mの台地上に、5世紀前半から6世紀後半にかけて造られた古墳群で、前方後円墳5基、方墳1基、円墳35基の計41基が、良好な形で現存する。	 新原・奴山古墳群

※①から④は、「宗像神社境内」として国の史跡指定を受けている。

⑤は、史跡「津屋崎古墳群」の一部として国の史跡指定を受けている。

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議 委員

福岡経済同友会恒久幹事	石原 進
福岡県商工会議所連合会会长	末吉 紀雄
福岡県商工会連合会会长	城戸 津紀雄
福岡県農業協同組合中央会会长	倉重 博文
福岡県漁業協同組合連合会会长	佐藤 政俊
宗像市商工会会長	花田 省蔵
福津市商工会会長	原田 誠
宗像観光協会会長	小林 正勝
福津市観光協会会長	高島 亮一
宗像農業協同組合代表理事組合長	川口 正利
宗像漁業協同組合代表理事組合長	中村 忠彦
宗像市コミュニティ代表(宗像市コミュニティ運営協議会会长)	前田 誠
玄海地区コミュニティ運営協議会会长	花田 純一
大島地区コミュニティ運営協議会会长	梶原 實
勝浦地域郷づくり推進協議会会长	花田 黙
津屋崎地域郷づくり推進協議会会长	山脇 清
宮司地区郷づくり推進協議会会长	坂根 康廣
宗像・福津市民組織代表(宗像青年会議所理事長)	的場 英雄
専門家会議委員長	西谷 正
福岡県文化団体連合会理事長	宇田川 宣人
福岡教育大学学長	寺尾 慎一
東海大学福岡短期大学学長	神山 高行
日本赤十字九州国際看護大学学長	浦田 喜久子
宗像大社宮司	高向 正秀
宮地嶽神社宮司	淨見 謙
福岡県知事	会長 小川 洋
福岡県教育長	城戸 秀明
宗像市長	副会長 谷井 博美
宗像市教育長	遠矢 修
福津市長	副会長 小山 達生
福津市教育長	金子 孝信
福岡県市長会会长	櫛原 利則

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議 顧問

九州経済連合会会长	麻生 泰
九州観光推進機構会長	(本推進会議委員)
福岡都市圏広域行政推進協議会会长	高島 宗一郎
早稲田大学名誉教授	吉村 作治
早稲田大学教授	中川 武
日本の次世代リーダー養成塾理事兼事務局長	加藤 晓子
慶應義塾大学講師	正木 晃
福岡県議会議員(宗像市)	伊豆 美沙子
福岡県議会議員(宗像市)	吉武 邦彦
福岡県議会議員(福津市)	阿部 弘樹
前ユネスコ事務局長	松浦 晃一郎